

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名		部名	上下水道部
	19003	水道施設耐震化整備事業		課名	上水道課 上水道工務G
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		財務科目	11:水道公営企業会計
	基本施策	03:上下水道の充実			資1:資本的支出
	施策の方向	01:安全でおいしい水の安定供給			01:建設改良費
戦略プロジェクト	-		01:施設費		
事業予定期間	R 1 ~ R 9 年度	主な根拠法令要綱等	水道法		

目的・概要	対象	市民
	目的	水道施設(管路、浄水場、配水池など)の耐震化を図ることで、地震災害発生時の水道施設への被害を低減し、非常時における一定の給水を確保する。
概要	基幹管路である水源地から配水池を經由し地区の主要部までの経路や、指定避難所や災害対策本部等の重要施設までの経路の耐震化を進める。なお、水道施設簡易耐震診断の検証結果や被災時に与える給水の影響範囲などを考慮し、整備優先順位を設定し耐震化を進める。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業の計画・実績	年度計画	基幹管路耐震化整備 ・関第2水源系 L=270m	基幹管路耐震化整備 ・関第2水源系 L=500m ・第1水源系 L=110m	基幹管路耐震化整備 ・関第2水源系 L=685m ・第1水源系 基幹管路ルートを検討	
	年度実績	○基幹管路耐震化整備 ・関第2水源系 L=288m	○基幹管路耐震化整備 ・関第2水源系 L=502m ・第1水源系 L=110m【令和3年度へ繰越】		
事業費	計画額	事業費	10,000千円	53,900千円	58,000千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	予算額	事業費	10,000千円	33,487千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	決算額	事業費	9,834千円	33,487千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
人件費	総人件費	863千円	1,960千円	0千円	
	一般職員	863千円	1,960千円	0千円	
	所要人員	0.11	0.25		
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト(+)		10,697千円	35,447千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
指標	名称	基幹管路の耐震化率	計画値	20.7	21.6	22.6
		耐震化済延長/総延長	実績値	20.8	21.5	
			単位	%	%	%
	名称		計画値			
			実績値			
			単位			
	名称		計画値			
			実績値			
			単位			

事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 関第2水源系については、管路を埋設する区間において、道路幅員が狭小であることから、道路利用者への安全配慮が特に必要である。また、第1水源系については、道路を利用する学生や児童の通行が多いことから安全対策が特に必要である。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 教育委員会、学校関係者及び地元住民へ積極的な連絡調整や情報発信をすることで、迂回路等の協力依頼を行い安全な施工を行った。

		評価	(判定)
事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 関第2水源系においては、基幹管路である関第2配水池から関南部加圧ポンプ室までの一部区間における延長502mの工事を実施した。第1水源系においては、既設管との接続箇所での工法変更により時間を要し、翌年度に繰越を行ったが、契約工期どおり令和3年8月の完成に向け工事を実施している。	B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 関第2水源系の基幹管路においては、延長502mの耐震化が図れた。また、第1水源系の基幹管路においては、延長約110mの耐震化を図るため工事を実施している。	B まずまず成果を得た

今後の対応方針	課題	【課題は何か】 関第2水源系の基幹管路においては、老朽化による漏水事故も発生していることから、整備区間の精査を行い早急に改良し、漏水の多い部分の基幹管路の改良を完成させる。第1水源系は、鉄道横断箇所になることから、非常に困難な場所であり、基幹管路のルート変更を視野に入れて検討を行う必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 [その他の場合、その内容を記載]
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 事業を円滑に進めるようにするため、地元住民と調整を図りながら設計や工事を行う。また、第1水源系は関係機関等との協議についても円滑に進め、基幹管路のルート検討を行う。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 基幹管路である水源池から配水池を経由し地区の主要部分までの経路の耐震化が図れる。	
対応時期		令和3年度	

【1次評価者】	上下水道部 上水道課 上水道工務グループリーダー 高沢 直
【最終評価者】	上下水道部 上水道課長 鳥喰 教義

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動			A	B	
	成果			A	B	

令和2年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		33,487 千円
内訳	令和元年度からの繰越額	千円
	令和2年度の最終予算額	54,047 千円
	令和3年度への繰越額	20,560 千円